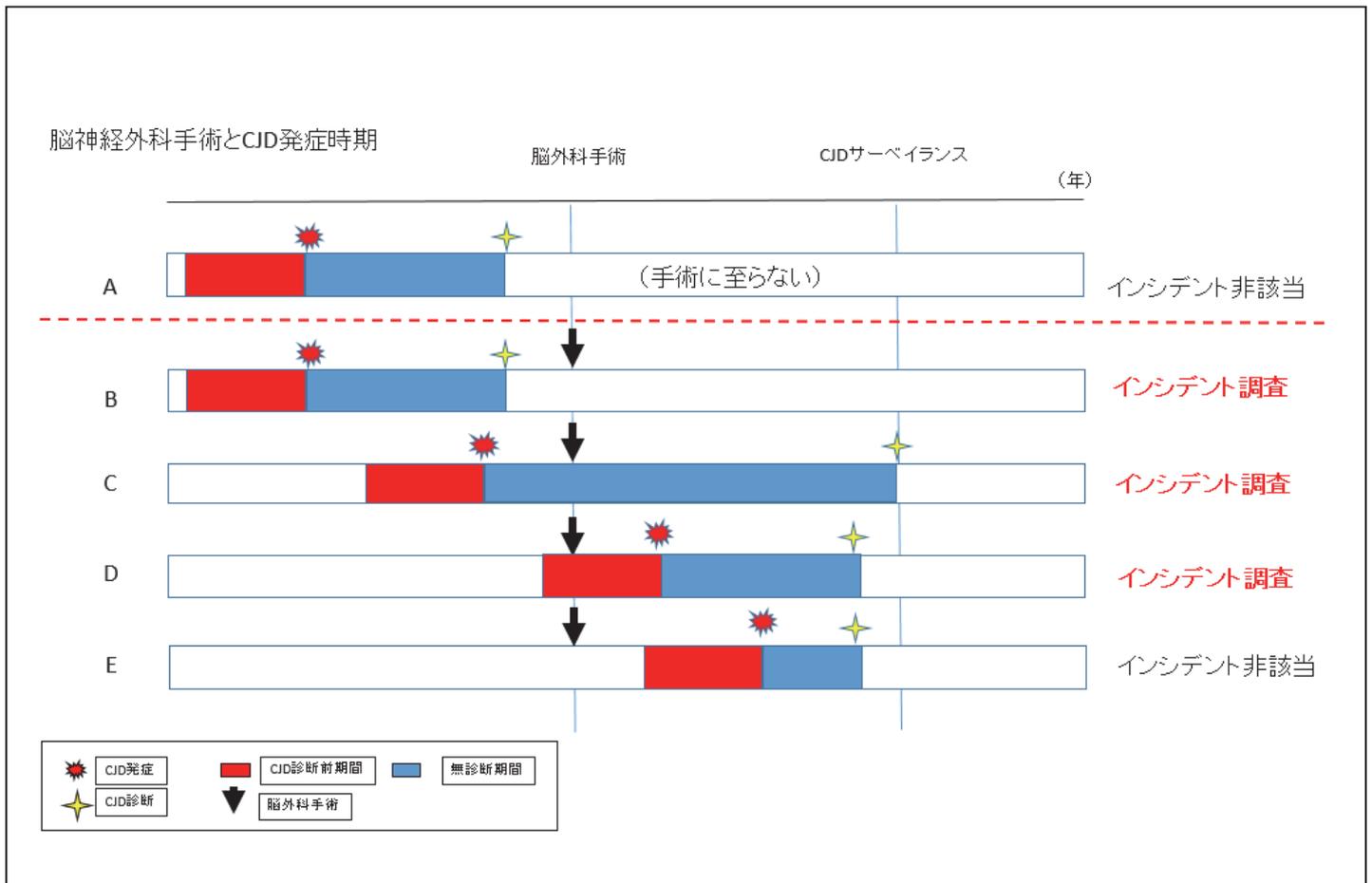


CJDインシデント事例のパターン

研究分担者： 日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科 太組一朗



解説

1. これまでに経験されたCJDインシデント症例を、CJD発症前期間・CJD発症時期・CJD診断時期・CJD無診断期間・ハイリスク手術時期・CJDサーベイランス等に着目して、上記A-Eのように分類した。
2. パターンDでは、CJD発症前であってもインシデント対象となっている。このことから、ハイリスク手技におけるプリオン病対策は今後とも必須であることが再確認された。